

## 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	法令を遵守しています。スペースの使い方も工夫しています。引き続きソーシャルディスタンス確保のため、昼食時やおやつ時は教室を広く使い、隣席との距離を保っています。
	2	職員の配置数は適切であるか	法令を遵守しています。専門性の高い職員の配置に努めています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	入口に段差があり手すりを付けています。合理的配慮をしています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	定期的にミーティングを行いすべての職員が参画し、業務改善に努めています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	年に1回アンケートを実施し業務改善につなげています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	ホームページで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	第三者評価は実施していませんが必要に応じて検討していきます。他事業所との意見交換や情報交換をして業務の見直しを行っています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	初任者研修を行い、その後定期的に必要な研修等を行い、資質の向上に努めています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	面談等を行ったうえで計画を作成しています。発達検査やセルフプランなどを参考に分析に役立てています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	チームでプログラムの立案を行い、固定化しないように工夫してプログラムを組んでいます。月ごとにミーティング等で内容確認、検証を行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	一人ひとりの児童に対し、長期休暇や休日などで利用時間が変わる際に改めてすり合わせなどを行っています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	児童の状況に合わせて個別や集団活動を組み合わせ計画を作成している。目標に合わせて集団の規模を変えて活動をしています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	毎日必ず、支援開始前と終了後に職員間で打ち合わせ児童の状態や支援内容の情報を共有しています。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	起こりうる状況を想定して準備をし、対応しています。	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	必ず記録を取り、職員で共有し、より良い支援につなげていくようにしています。	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	半年に1回以上モニタリングを行い、計画の見直しをしています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	柔軟に組み合わせる支援を行うよう努めている。意欲的にとり組めるように内容も工夫しています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	児童の状況に精通した職員が必ず参画しています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	必要に応じて適宜行っています。送迎時や年間計画表、通知表などを用いて情報共有や調整をしています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	医療的ケアが必要な場合、入会前に保護者や主治医などと話し合い、受け入れが可能か検討します。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	必要に応じて情報共有、提供します。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	研修の機会をつくり受けるようにしています。今年度はオンラインの研修等にも参加しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	現在は交流の機会はありませんが、今後必要に応じて検討していきます。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	今のところ機会がありませんが参加を検討していきます。保護者からも要望がない状態です。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	送迎の際や連絡帳、面談や見学等を実施し個別支援計画等で共有しています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	必要に応じて個別に支援や相談を行っています。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	初回面談時に丁寧に行っています。入り口に掲示しています。必要に応じてその都度説明を行います。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	面談や送迎の際、メールなどで必要に応じて個別に支援を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	保護者会等は現在は行っていませんが、希望や要望に応じて検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情窓口の設置、周知しています。苦情があった場合は解決の流れに沿って適切に対応します。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	メールや連絡帳、活動記録を発信している。行事等がある際は保護者にプリントなどで配布しています。

	35	個人情報に十分注意しているか	個人情報鍵付きのスチール棚に保管している。 個人情報の扱いはミーティングで職員に対し注意喚起している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	わかりやすい、伝わりやすい方法で行っています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	現在は行っていません。保護者の要望等に配慮し、検討していきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	マニュアルを策定し職員研修や面談時に伝えていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	年に2回(1月、8月)避難訓練を実施しました。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	虐待防止等の勉強会への参加、職員研修を実施し防止に努めている。また掲示物等で周知しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	初回面談時に説明します。必要に応じて面談を行い支援計画等に記載しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	アレルギーの有無の確認、把握し保護者と連携し対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハット事例集を作成し職員で共有し事故防止に努めています。